

## カゴメ野菜生活ファーム富士見の畑で“生物多様性保全”に配慮した農業を開始 ～畑のまわりでは、大人も子供も楽しめる「畑の生きものクイズラリー」をスタート～

カゴメ株式会社(代表取締役社長:山口聡 本社:愛知県名古屋市)は、観光施設「カゴメ野菜生活ファーム富士見」に隣接する畑において、生物多様性保全に配慮した農業を開始いたします。

自然の恵みを原料として使用する当社にとって、自然環境の保全は事業の継続のために必要不可欠です。当社は自然の恵みを持続的に享受できるよう、農業における生態系への負荷軽減に取り組み、多様な生物との共生を目指しています。

この畑においては、農業に役立つ生きものを畑へと呼びこむ為に、「竹筒マンション」や「石づみハウス」等を設置し、「生きものと農業の共生」を図ることで、持続可能な農業の実現を目指します。将来的には、農業に従事されている生産者の皆さまにむけて、持続可能な農業のモデルケースとして頂けるように取り組んでまいります。

また、畑のまわりには「畑の生きものクイズラリー」ができる看板を設置し、ご来場いただいたお客様に生物多様性の大切さを楽しく学んでいただける場といたします。

### 1. 生きものと共生する農場

「カゴメ野菜生活ファーム富士見」に隣接する1.2ヘクタールの畑において、これから秋冬に向けて旬の野菜を栽培し、来場者に収穫体験をしていただいたり、出荷・販売することを検討しています。畑のまわりでは様々な生きものが暮らせるようにするため、それぞれが生活しやすい環境を農場内に整えます。また、害虫の天敵など、農業に役立つ生きものを畑へと呼びこみ、生きものの力を活かして農業を行います。



竹筒マンション

ドロバチが子育てに使用



石づみハウス

トカゲやてんとうむしの住処になる

## 2. 畑の生きものクイズラリー

畑のまわりには、生きものと共生するための工夫や、鳥や昆虫、草花に関する14個のクイズを設置し、野菜生活ファーム富士見のお客様むけに「畑の生きものクイズラリー」を企画します。

2

### たけのこ マンション

KAGOME 野菜生活 Farm.

ドロバチは細長い穴に巣を作ります。害虫のアオムシなどに針で麻酔をかけ、生きたまま巣へ持ち帰り、産卵します。卵からかえった幼虫は麻酔のかかったアオムシを食べて育ち、翌春に巣立ちます。

たれたれクイズ
[A]
[B]
[C]

**問題**

私は竹筒の中に巣をつくるドロバチだ。私がどんな姿をしているか、わかるかな？

答え合わせはファームハウス受付へ

6

### 石づみハウス

KAGOME 野菜生活 Farm.

石のすき間は、害虫を食べてくれるトカゲやクモがかくれたり、アブラムシを食べるテントウムシが冬をこすための場所です。ここでは鞋に石を積んで、害虫の天敵たちが畑に集まるようにしています。

たれたれクイズ
[A]
[B]
[C]

**問題**

僕はニホントカゲの子ども。敵におそわれたら目立つしっぽを残して逃げるんだ。僕はどれかな？

答え合わせはファームハウス受付へ

KAGOME 野菜生活 Farm.

# ファームのひみつ

## 生きものと共生する農場

番号の場所に行くとクイズがあるよ!

受付でカードをもらってクイズラリーに参加してね!

**カゴメの目指す「生きものと共生する農場」**

農業は自然のめぐみである農産物を私たちに与えてくれると同時に、さまざまな環境をつくりだし、農村の生物多様性をささえています。多様な生きものの中には害虫もありますが、その害虫を食べて大発生を抑える天敵や、受粉を手伝うハチなど、農業に多くのメリットをもたらす存在でもあります。

しかし今、世界では多くの生きものが数を減らしています。農業にかかわる生きものも例外ではありません。減少の理由は森林伐採や地球温暖化など様々ですが、ひとつの作物だけを広い面積で育てる農業、過度の農業利用、さらには耕作放棄地の増加といった、農業のやり方そのものも要因の一つと言われています。

そこでカゴメはサステナブルな未来のため、農産物という自然のめぐみをこれからも作り続けられるよう、二つの取り組みを通して「生きものと共生する農場」づくりを目指します。

1. 様々な生きものが畑の周りに暮らせるようにするため、それぞれが生活しやすい環境を農場内に整えます
2. 害虫の天敵など、農業に役立つ生きものを畑へと呼びこみ、生きもの力を活かして農業を行います

取り組みの結果はモニタリングして評価するとともに、カゴメに関係する全国の農家の方々にも将来的に協力してもらえよう、情報を発信していきます。

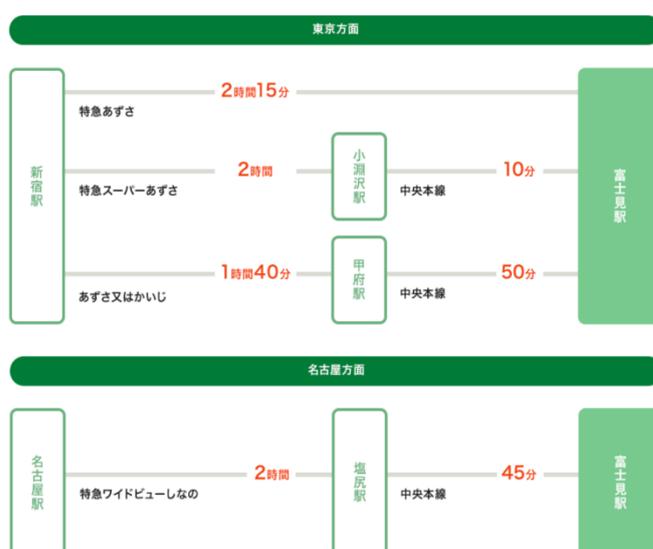
## カゴメ野菜生活ファーム富士見の概要

住所	長野県諏訪郡富士見町富士見 9275-1
営業期間・時間	営業期間： 4月～11月を予定（12月～3月は冬季休業休館予定） 営業時間： 10時半～16時（季節により変更になる場合がございます）
休館日	火曜日（祝祭日除く）
入場料	無料
駐車場	普通車 85台、大型バス 4台、駐輪場 8台
問い合わせ先	ysf@kagome.co.jp（営業期間内）

### （アクセス）



（車） 中央道諏訪南ICより約 7 分



（電車） 中央本線 富士見駅で下車後、車で約 6 分

### <報道機関の皆様向けのお問い合わせ先>

カゴメ株式会社 経営企画室 広報グループ 鶴田、北川、堀江 TEL:03-5623-8503